# 大型車の車輪脱落事故等調査票

## 事業者情報

| | | |
|---|---|---|
| 1. 事業者情報 | 事業者名 | |
| | 営業所名 | 営業所 |
| | 代表者名 | |
| | 事業者住所 | |
| | 営業所住所 | |
| | 営業所配置車両数 | 両 |
| | 整備管理者氏名（兼職者は兼職内容、外部委託者はその旨を記載） | |
| | 整備管理補助者選任の有無（有の場合は、氏名を記載） | 無 ・ 有（ ） |
| | 自社整備工場の保有 | 無 （過去に保有していた・過去から保有なし）<br>有 （特定整備認証有・特定整備認証無） |
| 2. 自社での車両メンテナンス状況 | ①車両管理担当者 | 【氏名、役職等】 |
| | ②車両管理責任者 | 【氏名、役職等】 |
| | ④定期点検整備の実施状況 | **【3ヶ月点検】** |
| | | ◆実施者: 自社 ・ 整備工場 ・ その他（ ） |
| | | ※自社の場合は実施者氏名、役職: |
| | | **【12ヶ月点検】** |
| | | ◆実施者: 自社 ・ 整備工場 ・ その他（ ） |
| | | ※自社の場合は実施者氏名、役職: |
| | ⑤日常点検の実施状況等<br><br>※ホイール・ナットの締付状態の点検状況 | ◆実施者: 運転者 ・ 整備管理者 ・ 整備担当者 ・ 外注 ・ その他（ ）<br>※実施者が複数の場合は、複数選択可 |
| | | ◆実施時期: 運行前 ・ 運行途中 ・ 帰庫時 ※複数選択可 |
| | | ◆実施方法:マーキング確認 ・ 点検ハンマー ・ トルクレンチ ・ その他（ ） |
| | | ◆目視確認の導入:有（マーキング確認・マーカー（インジケーター）装着）・無 |
| | | ◆事故防止通達に基づく日常点検表の使用: 有 ・ 無 |
| | | ◆最終確認者名: |
| | ⑥自社でのタイヤローテーションの実施状況 | ◆実施者: 運転者 ・ 整備管理者 ・ 整備担当者 ・ 外注 ・ その他（ ）<br>※実施者が複数の場合は、複数選択可。外注の場合は 【3. 】へ |
| | | ◆使用工具: インパクト ・ トルクレンチ ・ その他（ ）※複数選択可 |
| | | ◆締め付けトルク: N・m ・ 不明 |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の点検実施: 有 ・ 無 |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の清掃実施: 有 ・ 無 |
| | | ※有の場合は具体的な清掃方法: ワイヤーブラシ ・ （その他: ） |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部の潤滑剤塗布: 有 ・ 無 |
| | | ◆ホイールナットとワッシャーの間の潤滑剤塗布: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ※潤滑剤の種類: メーカー指定品（名称: ）・ 指定品以外（商品名: ） |
| | | ◆事故防止通達に基づく作業管理表の使用・管理: 有 ・ 無 |
| | | ◆タイヤローテーション頻度 年間 回実施（ 月 ・ 月） |
| | ⑦自社でのタイヤ交換の実施状況 | ◆実施者: 運転者 ・ 整備管理者 ・ 整備担当者 ・ 外注 ・ その他（ ）<br>※実施者が複数の場合は、複数選択可。外注の場合は 【3. 】へ |
| | | ◆使用工具: インパクト ・ トルクレンチ ・ その他（ ）※複数選択可 |
| | | ◆締め付けトルク: N・m ・ 不明 |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の点検実施: 有 ・ 無 |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の清掃実施: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ※有の場合は具体的な清掃方法: ワイヤーブラシ ・ （その他: ） |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部の潤滑材塗布: 有 ・ 無 |
| | | ◆ホイールナットとワッシャーの間の潤滑剤塗布: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ※潤滑剤の種類: メーカー指定品（名称: ）・ 指定品以外（商品名: ） |
| | | ◆事故防止通達に基づく作業管理表の使用・管理: 有 ・ 無 |
| | | ◆タイヤの交換頻度 年間 回交換（冬用タイヤ 月交換・夏用タイヤ 月交換） |

| | | |
|---|---|---|
| | ⑧増し締めの実施<br>（50～100km走行後の増し締め） | 実施　・ 緩みがあれば実施 ・ 未実施 |
| | | 【実施の場合】 |
| | | ◆実施時期: 交換後（　　km・　　日） で実施 ・ 帰庫時に実施<br>※複数選択可 |
| | | ◆実施者名: 運転者 ・ 整備管理者 ・ 整備担当者 ・ 外注 ・ その他（　） |
| | | ※実施者が複数の場合は、複数選択可 |
| | | ◆使用工具: インパクトレンチ ・ トルクレンチ ・ 車載工具 ・ その他（　） |
| | | ◆締め付けトルク:　　N･m ・ 不明 |
| | | ◆増し締めの認知状況: 知っている ・ 聞いたことはある ・ 知らない ・ 不明 |
| | | ◆事故防止通達に基づく作業管理表の使用･管理: 有　・　無 |
| | ⑨ホイール･ボルト、ナットの交換基準 | 定めていない ・ 定めている(交換頻度　年毎)　直近の交換日(　年　月　日) |
| | | 外注先に任せている |
| | ⑩トルクレンチの保有状況 | ◆トルクレンチ保有:　有　・　無 |
| | | ※有の場合は校正実施: 有(　　年毎に実施)　・　無 |
| | | ※校正実施無の場合: 知らない ・ 知っているが実施してない(理由:　) |
| 3. 外注による車両メンテナンス状況 | ①外注によるタイヤローテーションの実施状況<br><br>【外注している場合のみ記入】 | ◆実施事業者名: |
| | | ◆トルクレンチ保有: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ※有の場合は外注先の校正実施: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ◆使用工具:インパクトレンチ ・ トルクレンチ ・ その他(　)※複数選択可 |
| | | ◆締め付けトルク:　　N･m ・ 不明 |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の点検実施: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の清掃実施: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ※有の場合は具体的な清掃方法:　ワイヤーブラシ ・　(その他:　) |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部の潤滑剤塗布:有 ・　無　・　不明 |
| | | ◆ホイールナットとワッシャーの間の潤滑剤塗布: 有 ・　無　・　不明 |
| | | ※潤滑剤の種類: メーカー指定品(名称:　) ・ 指定品以外(商品名:　) |
| | | ◆ホイールボルトやナットの交換基準:　有 ・ 必要に応じて交換 ・ 特になし |
| | | ◆ホイールボルトやナットの交換状況:　必ず交換 ・ 交換を勧められる ・ 特になし |
| | | ◆外注先からの増し締めアドバイス:　受けている ・ 受けていない ・ 不明 |
| | | ◆外注先からの作業報告: 有 ・ 無 |
| | ②外注によるタイヤ交換の実施状況<br><br>【外注している場合のみ記入】 | ◆実施事業者名: |
| | | ◆トルクレンチ保有: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ※有の場合は外注先のトルクレンチ校正状況: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ◆使用工具: インパクト ・ トルクレンチ ・ その他(　)※複数選択可 |
| | | ◆締め付けトルク:　　N･m ・ 不明 |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の点検実施: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の清掃実施: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ※有の場合は具体的な方法:　ワイヤーブラシ ・　(その他:　) |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部の潤滑剤塗布: 有 ・　無　・　不明 |
| | | ◆ナットとワッシャーの間の潤滑剤塗布: 有 ・　無　・　不明 |
| | | ※潤滑剤の種類: メーカー指定品(名称:　) ・ 指定品以外(商品名:　) |
| | | ◆ホイールボルトやナットの交換基準:　有 ・ 必要に応じて交換 ・ 特になし |
| | | ◆ホイールボルトやナットの交換状況:　必ず交換 ・ 交換を勧められる ・ 特になし |
| | | ◆外注先からの増し締めアドバイス:　受けている ・ 受けていない ・ 不明 |
| | | ◆外注先からの作業報告: 有 ・ 無 |
| 4. タイヤ交換等への整備管理者の関与 | ①交換作業時 | 作業立ち会い ・ 作業報告で確認 ・ 関与していない ・ その他(　) |
| | ②増し締め作業時 | 作業立ち会い ・ 作業報告で確認 ・ 関与していない ・ その他(　) |
| | ③外注作業時 | 作業報告書を確認 ・ 関与していない ・　その他(　) |
| 5. 脱輪事故防止に関する社内教育 | ①脱輪事故防止のための4つのルールを知っていたか。 | 聞いており、内容も知っている ・ 聞いたことはあるが、内容は知らない ・ 聞いたこともないし、内容も知らない |
| | ②上記のルールは社内で誰が知っているか。(複数選択可) | 役員 ・ 整備管理者 ・ タイヤ交換者 ・ 運転者<br>その他(　) |
| | ③国土交通省から通知している脱輪防止対策の社内周知方法 | 周知していない ・ 掲示、回覧で周知 ・ 定例会議等で周知<br>その他方法(　) |
| | ③脱輪事故防止対策の実行状況の把握方法 | 把握していない ・ 作業者、運転者から報告させている ・ 整備管理者が確認している<br>・ その他方法(　) |

## 車輪脱落事故情報

| | | |
|---|---|---|
| 6. 事故発生年月日 | 令和　　年　　月　　日　　時　　分頃 ・ 当日の天候: | |
| 7. 事故発生場所 | 発生地名: | |
| | 一般道路(名称:　　) ・ 高速道路又は自動車道(名称:　　) | |
| 8. 事故車両概要 | 登録番号 | |
| | 車名 | |
| | 通称名 | |
| | 当日の積載物品名 | |
| | 総走行距離 | km |
| | 脱輪した箇所 | 右側 ・ 左側 |
| | | 前輪(二軸の場合: 前々 ・ 前後) ・ 後輪(二軸の場合: 後前 ・ 後中 ・ 後々) |
| | 脱輪したタイヤの本数 | 1本(複輪の場合: 外輪 ・ 内輪 ) ・ 2本 |
| | 脱輪の主な原因 | ナットの緩み ・ ボルトの折損 |
| | | 事故現場からのナットの回収状況(　　個回収 ・ 見つからなかった ・ 不明 ) |
| | 脱輪車輪以外の車輪のナットの緩みの有無 | 有 ・ 無 |
| | | ※有の場合の緩みの箇所　　箇所 (　　輪 ・　　輪 ・　　輪) |
| | ホイールの種類 | アルミホイール ・ スチールホイール |
| | ホイールボルト・ナット方式 | JIS方式 { 6穴 ・ 8穴 、 アルミ用 ・ スチール用 } |
| | | ISO / 新ISO方式 { 8穴 ・ 10穴 、 アルミ用 ・ スチール用 } |
| | 履き替え等からの走行距離 | km ・ 不明 |
| | 大型車メーカーより発送されたダイレクトメールの確認状況(令和4年9月以降) | ◆届いたダイレクトメールを開封し、周知・啓発チラシを確認した |
| | | ◆ダイレクトメールは届いたが、開封、確認していない |
| | | ◆ダイレクトメールは届いていない |
| | ホイール・ナットの緊急点検実施状況(令和4年9月以降) | ◆ホイールナットの緊急点検実施状況: 実施した ・ 実施していない |
| | | ◆緊急点検の結果: 劣化したナットを交換した ・ 劣化したナットは確認されなかった |
| | | ◆緊急点検実施年月日:　　年　　月　　日 |
| | | ◆緊急点検実施者: 運転者 ・ 整備管理者 ・ 整備担当者 ・ タイヤ専業店<br>大型車ディーラー ・ 自動車整備工場 ・ その他 |
| | | ◆実施店舗名称(　　) |
| | | ◆緊急点検を実施していない(理由　　) |
| 9. 事故概要 | 【概要】 | |
| | 【事故当日の運行経路】 | |
| | 【運転者の口述概要】 | |
| | 【車輪脱着作業実施者等の口述概要】 | |
| | 【損害の程度】<br>有 (死亡　　人 ・ 重傷　　人 ・ 軽傷　　人) ・ 物損　　無 | |

| | | |
|---|---|---|
| 10. 車両見分概要 | 〔　　〕実施 | 令和　　年　　月　　日 |
| | 概要 | |
| 11. 車輌、部品等の調査結果（車両見分等実施の場合は【10. 】に記載） | | |
| 12. 事故直近の車両点検、整備状況 | 〔　　〕か月点検 | ●令和　　年　　月　　日実施<br>●実施者名： |
| | 臨時整備 | ●令和　　年　　月　　日実施<br>●実施者名： |
| 13. 脱輪事故直近のタイヤ、ホイールの整備状況 | タイヤ脱着作業の状況 | ◆直近の車輪脱着日：令和　　年　　月　　日<br>◆作業内容：<br>◆実施者：運転者・整備管理者・整備担当者・外注・その他（　　）<br>※実施者が複数の場合は、複数選択可<br>◆使用工具：インパクト・トルクレンチ・その他（　　）<br>◆締め付けトルク：　　N・m ・ 不明<br>◆ホイールボルト・ナットの汚れの状況： 有 ・ 少し有 ・ 無 ・ 不明<br>◆ホイールボルト・ナットの錆の状況： 有 ・ 少し有 ・ 無 ・ 不明<br>◆作業時のホイールナットの回り具合： スムーズ ・ 少し引っかかり有 ・ 不明<br>◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の点検実施： 有 ・ 無 ・ 不明<br>◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の清掃実施： 有 ・ 無 ・ 不明<br>※有の場合は具体的な清掃方法： ワイヤーブラシ ・ （その他：　　）<br>◆ホイールボルトのねじ部の潤滑剤塗布： 有 ・ 無 ・ 不明<br>◆ホイールナットとワッシャーの間の潤滑剤塗布： 有 ・ 無 ・ 不明<br>※潤滑剤の種類： メーカー指定品（名称：　　）・ 指定品以外（商品名：　　）<br>◆事故防止通達に基づく作業管理表（外注は作業報告）の記録・管理： 有 ・ 無 |
| | 直近のホイールボルト・ホイールナット交換の有無 | 有（交換時期　　年　　月）・ 無 ・ 不明<br>※ホイールボルトやナットの交換基準： 有 ・ 必要に応じて交換 ・ 特になし |
| | 脱輪事故当日の日常点検の実施状況<br>※ホイールナットの締付状態の点検 | ◆実施者：運転者・整備管理者・整備担当者・外注・その他（　　）<br>※実施者が複数の場合は、複数選択可 |
| | | ◆実施時期：運行前 ・ 運行途中 ・ 帰庫時 ※複数選択可 |
| | | ◆実施方法：マーキング確認・点検ハンマー・トルクレンチ・その他（　　） |
| | | ◆目視確認の導入：有（マーキング確認・マーカー（インジケーター）装着）・無 |
| | | ◆事故防止通達に基づく日常点検表の使用： 有 ・ 無 |
| | 増し締めの実施（50～100km走行後の増し締め） | 実施 ・ 未実施 |
| | | 【実施の場合】 |
| | | ◆実施時期： 交換後（　　km ・　　日 ） で実施 |
| | | ◆実施者名：運転者・整備管理者・整備担当者・外注・その他（　　）<br>※実施者が複数の場合は、複数選択可 |
| | | ◆使用工具：インパクト・トルクレンチ・車載工具・その他（　　） |
| | | ◆締め付けトルク：　　N・m ・ 不明 |
| | | ◆増し締めの認知状況： 知っている ・ 聞いたことはある ・ 知らない ・ 不明 |
| | | ◆事故防止通達に基づく作業管理表の記録・管理： 有 ・ 無 |

| | |
|---|---|
| 14. 補足事項等<br>(『「2. ⑤～⑧」「3. 」で実施することにしているが、今回実施を失念した理由』等を記載) | |
| 15. 事業者による原因調査の実施状況 | 実施　・　未実施<br>◆実施の場合は実施状況 |
| 16. 推定原因 | |
| 17. 再発防止策 | |

| | |
|---|---|
| 各県協会加盟の有無 | バス ・ トラック ・ 非加盟 |

※本調査は、車輪脱落事故防止対策の基礎資料とするために行っております。
本調査をもって、運送事業の行政処分を行うことは一切ありませんので、**ありのままを記入してください。**
ご意見・ご要望等がありましたら 17. 再発防止策 の欄に記入をお願いします。

# 大型車の車輪脱落事故等調査票

## 事業者情報

| | | |
|---|---|---|
| 1. 事業者情報 | 事業者名 | ●●運輸株式会社 |
| | 営業所名 | ●● 営業所 |
| | 代表者名 | ●● ●● |
| | 事業者住所 | 宮城県仙台市宮城野区鉄砲町●●番地 |
| | 営業所住所 | 同上 |
| | 営業所配置車両数 | ●● 両 |
| | 整備管理者氏名（兼職者は兼職内容、外部委託者はその旨を記載） | ●● ●●（代表取締役兼運行管理者） |
| | 整備管理補助者選任の有無（有の場合は、氏名を記載） | 無 ・ (有)（ ●● ●●、●● ● ） |
| | 自社整備工場の保有 | (無)（過去に保有していた・過去から保有なし）<br>有（特定整備認証有・特定整備認証無） |
| 2. 自社での車両メンテナンス状況 | ①車両管理担当者 | 【氏名、役職等】●● ●●（整備係長） |
| | ②車両管理責任者 | 【氏名、役職等】●● ●●（整備管理者） |
| | ④定期点検整備の実施状況 | **【3ヶ月点検】** |
| | | ◆実施者： 自社 ・ (整備工場) ・ その他（ ） |
| | | ※自社の場合は実施者氏名、役職： |
| | | **【12ヶ月点検】** |
| | | ◆実施者： 自社 ・ (整備工場) ・ その他（ ） |
| | | ※自社の場合は実施者氏名、役職： |
| | ⑤日常点検の実施状況等<br><br>※ホイール・ナットの締付状態の点検状況 | ◆実施者：(運転者) ・ 整備管理者 ・ 整備担当者 ・ 外注 ・ その他（ ）<br>※実施者が複数の場合は、複数選択可 |
| | | ◆実施時期：(運行前) ・ 運行途中 ・ (帰庫時) ※複数選択可 |
| | | ◆実施方法：マーキング確認 ・ (点検ハンマー) ・ トルクレンチ ・ (その他（目視）) |
| | | ◆目視確認の導入：(有)（(マーキング確認)・マーカー（インジケーター）装着）・(無) |
| | | ◆事故防止通達に基づく日常点検表の使用： (有) ・ 無 |
| | | ◆最終確認者名：●● ●● |
| | ⑥自社でのタイヤローテーションの実施状況 | ◆実施者：(運転者) ・ 整備管理者 ・ 整備担当者 ・ 外注 ・ その他（ ）<br>※実施者が複数の場合は、複数選択可。外注の場合は 【3. 】へ |
| | | ◆使用工具：(インパクト) ・ トルクレンチ ・ その他（ ）※複数選択可 |
| | | ◆締め付けトルク： N・m ・(不明) |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の点検実施：(有) ・ 無 |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の清掃実施：(有) ・ 無 |
| | | ※有の場合は具体的な清掃方法：(ワイヤーブラシ) ・ （その他： ） |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部の潤滑剤塗布：(有) ・ 無 |
| | | ◆ホイールナットとワッシャーの間の潤滑剤塗布：(有) ・ 無 ・ 不明 |
| | | ※潤滑剤の種類：(メーカー指定品（名称：●●●● ）) ・ 指定品以外（商品名： ） |
| | | ◆事故防止通達に基づく作業管理表の使用・管理： 有 ・(無) |
| | | ◆タイヤローテーション頻度 年間 2 回実施（ 4月 ・ 11月） |
| | ⑦自社でのタイヤ交換の実施状況 | ◆実施者：(運転者)・(整備管理者) ・ 整備担当者 ・ 外注 ・ その他（ ）<br>※実施者が複数の場合は、複数選択可。外注の場合は 【3. 】へ |
| | | ◆使用工具：(インパクト)・(トルクレンチ) ・ その他（ ）※複数選択可 |
| | | ◆締め付けトルク： 600 N・m ・ 不明 |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の点検実施：(有) ・ 無 |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の清掃実施：(有) ・ 無 |
| | | ※有の場合は具体的な清掃方法： (ワイヤーブラシ) ・ （その他： ） |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部の潤滑剤塗布：(有) ・ 無 |
| | | ◆ホイールナットとワッシャーの間の潤滑剤塗布：(有) ・ 無 ・ 不明 |
| | | ※潤滑剤の種類： メーカー指定品（名称： ） ・ (指定品以外)（商品名：●●●●） |
| | | ◆事故防止通達に基づく作業管理表の使用・管理：(有) ・ 無 |
| | | ◆タイヤの交換頻度 年間 2回交換（冬用タイヤ 11月交換・夏用タイヤ 4月交換） |

| | | |
|---|---|---|
| | | 実施 ・ 緩みがあれば実施 ・ 未実施 |
| | ⑧増し締めの実施<br>（50～100km走行後の増し締め） | 【実施の場合】 |
| | | ◆実施時期: 交換後（ 100 km・ 日） で実施 ・ 帰庫時に実施<br>※複数選択可 |
| | | ◆実施者名: 運転者 ・ 整備管理者 ・ 整備担当者 ・ 外注 ・ その他（ ）<br>※実施者が複数の場合は、複数選択可 |
| | | ◆使用工具: インパクトレンチ ・ トルクレンチ ・ 車載工具 ・ その他（ ） |
| | | ◆締め付けトルク: 600 N･m ・ 不明 |
| | | ◆増し締めの認知状況: 知っている ・ 聞いたことはある ・ 知らない ・ 不明 |
| | | ◆事故防止通達に基づく作業管理表の使用･管理: 有 ・ 無 |
| | ⑨ホイール･ボルト、ナットの交換基準 | 定めていない ・ 定めている（交換頻度 4年毎） 直近の交換日（●年●月●●日） |
| | | 外注先に任せている |
| | ⑩トルクレンチの保有状況 | ◆トルクレンチ保有: 有 ・ 無 |
| | | ※有の場合は校正実施: 有（ 1 年毎に実施） ・ 無 |
| | | ※校正実施無の場合: 知らない ・ 知っているが実施してない（理由: ） |
| 3. 外注による車両メンテナンス状況 | ①外注によるタイヤローテーションの実施状況<br><br>【外注している場合のみ記入】 | ◆実施事業者名: ●●工場 ●●サービスセンター |
| | | ◆トルクレンチ保有: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ※有の場合は外注先の校正実施: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ◆使用工具: インパクトレンチ ・ トルクレンチ ・ その他（ ）※複数選択可 |
| | | ◆締め付けトルク: 600 N･m ・ 不明 |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の点検実施: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の清掃実施: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ※有の場合は具体的な清掃方法: ワイヤーブラシ ・ （その他: ） |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部の潤滑剤塗布: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ◆ホイールナットとワッシャーの間の潤滑剤塗布: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ※潤滑剤の種類: メーカー指定品（名称: ●●●●） ・ 指定品以外（商品名: ） |
| | | ◆ホイールボルトやナットの交換基準: 有 ・ 必要に応じて交換 ・ 特になし |
| | | ◆ホイールボルトやナットの交換状況: 必ず交換 ・ 交換を勧められる ・ 特になし |
| | | ◆外注先からの増し締めアドバイス: 受けている ・ 受けていない ・ 不明 |
| | | ◆外注先からの作業報告: 有 ・ 無 |
| | ②外注によるタイヤ交換の実施状況<br><br>【外注している場合のみ記入】 | ◆実施事業者名: ●●工場 ●●サービスセンター |
| | | ◆トルクレンチ保有: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ※有の場合は外注先の校正実施: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ◆使用工具: インパクトレンチ ・ トルクレンチ ・ その他（ ）※複数選択可 |
| | | ◆締め付けトルク: 600 N･m ・ 不明 |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の点検実施: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の清掃実施: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ※有の場合は具体的な清掃方法: ワイヤーブラシ ・ （その他: ） |
| | | ◆ホイールボルトのねじ部の潤滑剤塗布: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ◆ホイールナットとワッシャーの間の潤滑剤塗布: 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | | ※潤滑剤の種類: メーカー指定品（名称: ●●●●） ・ 指定品以外（商品名: ） |
| | | ◆ホイールボルトやナットの交換基準: 有 ・ 必要に応じて交換 ・ 特になし |
| | | ◆ホイールボルトやナットの交換状況: 必ず交換 ・ 交換を勧められる ・ 特になし |
| | | ◆外注先からの増し締めアドバイス: 受けている ・ 受けていない ・ 不明 |
| | | ◆外注先からの作業報告: 有 ・ 無 |
| 4. タイヤ交換等への整備管理者の関与 | ①交換作業時 | 作業立ち会い ・ 作業報告で確認 ・ 関与していない ・ その他（ ） |
| | ②増し締め作業時 | 作業立ち会い ・ 作業報告で確認 ・ 関与していない ・ その他（ ） |
| | ③外注作業時 | 作業報告書を確認 ・ 関与していない ・ その他（ ） |
| 5. 脱輪事故防止に関する社内教育 | ①脱輪事故防止のための4つのルールを知っていたか。 | 聞いており、内容も知っている ・ 聞いたことはあるが、内容は知らない ・ 聞いたこともないし、内容も知らない |
| | ②上記のルールは社内で誰が知っているか。（複数選択可） | 役員 ・ 整備管理者 ・ タイヤ交換者 ・ 運転者<br>その他（ ） |
| | ③国土交通省から通知している脱輪防止対策の社内周知方法 | 周知していない ・ 掲示、回覧で周知 ・ 定例会議等で周知<br>その他方法（ ） |
| | ③脱輪事故防止対策の実行状況の把握方法 | 把握していない ・ 作業者、運転者から報告させている ・ 整備管理者が確認している<br>・ その他方法（ ） |

## 車輪脱落事故情報

| | | |
|---|---|---|
| 6. 事故発生年月日 | 令和　●年　●月　●日　●時　●●分頃 ・ 当日の天候:晴 | |
| 7. 事故発生場所 | 発生地名:●●県●●市●●町 | |
| | 一般道路(名称: 県道●号線　) ・ 高速道路又は自動車道(名称:　) | |
| 8. 事故車両概要 | 登録番号 | 仙台100か●●●● |
| | 車名 | ●●●● |
| | 通称名 | ●●●● |
| | 当日の積載物品名 | ●●●● |
| | 総走行距離 | 1，000，000 km |
| | 脱輪した箇所 | 右側 ・(左側) |
| | | 前輪(二軸の場合: 前々・前後) ・ 後輪(二軸の場合: 後前・後中・(後々) |
| | 脱輪したタイヤの本数 | 1本(複輪の場合: 外輪 ・ 内輪 ) ・(2本) |
| | 脱輪の主な原因 | (ナットの緩み) ・ ボルトの折損 |
| | | 事故現場からのナットの回収状況((10個回収) 見つからなかった ・ 不明 ) |
| | 脱輪車輪以外の車輪のナットの緩みの有無 | (有)・ 無 |
| | | ※有の場合の緩みの箇所　2 箇所 ( 左側後前輪 ・ 左側前後輪 ) |
| | ホイールの種類 | アルミホイール ・(スチールホイール) |
| | ホイールボルト・ナット方式 | JIS方式 【 6穴 ・ 8穴 、 アルミ用 ・ スチール用 】 |
| | | ISO (新ISO方式) 【 8穴 ・(10穴) 、 アルミ用 ・(スチール用) 】 |
| | 履き替え等からの走行距離 | 1，000 km ・ 不明 |
| 9. 事故概要 | 【概要】<br>●●市で荷積み後、●●市にむけて運行中、●時●分頃当該地点において、前方の信号が赤だったことから減速していたところ、後前軸左側の車輪2本が脱落し、脱落した車輪が前方を走行していた車両の後部に衝突した。<br>この事故により脱落した車輪が衝突した車両の同乗者1名が打撲の軽傷を負った。 | |
| | 【事故当日の運行経路】<br>営業所～●●市～●●市～営業所 | |
| | 【運転者の口述概要】<br>走行中、特に大きな音や衝撃が発生することもなく、車輪が転がっていくのが見えたため、とっさに自車の車輪であると考え、路肩に停止し確認したところ、当該車輪が脱落していた。ホイールボルトの折損は無く、損傷も認められなかった。 | |
| | 【車輪脱着作業実施者等の口述概要】(●●工場　●●サービスセンターが作業実施)<br>◯作業員A:●月●日、作業員2人で当該車両の冬用タイヤへの交換を実施した。タイヤ交換作業が終わり車輪を固定する際、作業員Bがインパクトレンチを使用してホイールナットの締め付けを行い、最後に自分がトルクレンチを用いて適正トルクでの締め付けを実施した。当該作業の記録は自分が行った。<br>◯作業員B:●月●日、作業員2人で当該車両の冬用タイヤの交換を実施した。自分がインパクトレンチで締め付けを行った後、規定トルクでの締め付けは作業員Aが行った。 | |
| | 【損害の程度】<br>(有)死亡　人 ・ 重傷　人 ・ 軽傷　1人) ・(物損)　無 | |
| | 大型車メーカーより発送されたダイレクトメールの確認状況<br>(令和4年9月以降) | ◆届いたダイレクトメールを開封し、周知・啓発チラシを確認した |
| | | ◆ダイレクトメールは届いたが、開封、確認していない |
| | | ◆ダイレクトメールは届いていない |
| | ホイール・ナットの緊急点検実施状況<br>(令和4年9月以降) | ◆ホイールナットの緊急点検実施状況: (実施した) ・ 実施していない |
| | | ◆緊急点検の結果: (劣化したナットを交換した) ・ 劣化したナットは確認されなかった |
| | | ◆緊急点検実施年月日: 令和　●年　●月●●日 |
| | | ◆緊急点検実施者: 運転者 ・ 整備管理者 ・ 整備担当者 ・ タイヤ専業店<br>大型車(ディーラー) ・ 自動車整備工場 ・ その他 |
| | | ◆実施店舗名称(　●●自動車株式会社　) |
| | | ◆緊急点検を実施していない(理由　) |

| | | |
|---|---|---|
| 10. 車両見分概要 | 〔警察見分〕実施 | 令和　●年　●月●●日 |
| | 概要 | ・●●県警が●●市の●●●において実施。(自動車ディーラー)本社、(自動車メーカー)本社、●●運輸株式会社本社、●●運輸支局が立会う(10時10分～11時30分)。<br>・ホイールボルト6本のうち、4本について伸び(ピッチの増大)が確認された。また、そのうち2本についてねじ山の潰れが確認された。<br>・ホイールボルトが経年使用によりピッチが増大していたほか、ねじ山の潰れによりホイールナットが緩み易くなっていたと考えられ、●月●日に冬用タイヤの交換を実施してから増し締めを行わなかったことにより、ホイールナットの緩みが進行していったものと考えられる。なお、当該ホイールナットは脱落後発見されていないため状態を確認できないが、他の車輪に使用しているホイールボルトを確認したところ異常は認められなかった。(立会者合意による) |
| 11. 車輌、部品等の調査結果(車両見分等実施の場合は【10. 】に記載) | | |
| 12. 事故直近の車両点検、整備状況 | 〔３〕か月点検 | ●令和　●年　●月　●日実施<br>●実施者名:●●自動車整備株式会社 |
| | 臨時整備 | ●令和　年　月　日実施<br>●実施者名: |
| 13. 脱輪事故直近のタイヤ、ホイールの整備状況 | タイヤ脱着作業の状況 | ◆直近の車輪脱着日:令和 3年　11月　22日<br>◆作業内容:冬タイヤへ交換<br>◆実施者:運転者・整備管理者・整備担当者・(外注・その他(　　)<br>※実施者が複数の場合は、複数選択可<br>◆使用工具:(インパクト)・トルクレンチ・その他(　　)<br>◆締め付けトルク: 600 N・m ・ 不明<br>◆ホイールボルト・ナットの汚れの状況: 有 ・(少し有)・ 無 ・ 不明<br>◆ホイールボルト・ナットの錆の状況: 有 ・(少し有)・ 無 ・ 不明<br>◆作業時のホイールナットの回り具合: スムーズ ・(少し引っかかり)有 ・ 不明<br>◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の点検実施: (有)・ 無 ・ 不明<br>◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の清掃実施: (有)・無 ・ 不明<br>※有の場合は具体的な清掃方法: (ワイヤーブラシ)・ (その他:　　)<br>◆ホイールボルトのねじ部の潤滑剤塗布: (有)・ 無 ・ 不明<br>◆ホイールナットとワッシャーの間の潤滑剤塗布: (有)・ 無 ・ 不明<br>※潤滑剤の種類: メーカー指定品(名称:●●●●)・ 指定品以外(商品名:　) |
| | 直近のホイールボルト・ホイールナット交換の有無 | ◆事故防止通達に基づく作業管理表(外注は作業報告)の記録・管理: (有)・ 無<br>(有(交換時期 平成●●年 ●月)・ 無 ・ 不明<br>※ホイールボルトやナットの交換基準: 有 ・(必要に応じて交換)・ 特になし |
| | 脱輪事故当日の日常点検の実施状況<br><br>※ホイールナットの締付状態の点検 | ◆実施者:(運転者)・整備管理者・整備担当者・外注・その他(　　)<br>※実施者が複数の場合は、複数選択可<br>◆実施時期:(運行前)・ 運行途中 ・ 帰庫時 ※複数選択可<br>◆実施方法:マーキング確認・(点検ハンマー)・トルクレンチ・その他( )<br>◆目視確認の導入: 有(マーキング確認・マーカー(インジケーター)装着)・無<br>◆事故防止通達に基づく日常点検表の使用: (有)・ 無 |
| | 増し締めの実施(50～100km走行後の増し締め) | (実施)　未実施<br>【実施の場合】<br>◆実施時期: 交換後( 100 km ) で実施 ※交換後の翌日帰庫後<br>◆実施者名:(運転者)・整備管理者・整備担当者・外注・その他(　　)<br>※実施者が複数の場合は、複数選択可<br>◆使用工具:インパクト・トルクレンチ(車載工具)・その他(　　)<br>◆締め付けトルク: 600 N・m ・ 不明<br>◆増し締めの認知状況: 知っている ・(聞いたことはある)・ 知らない ・ 不明<br>◆事故防止通達に基づく作業管理表の記録・管理: 有 ・(無) |

| | |
|---|---|
| 14. 補足事項等<br>(『「2. ⑤～⑧」「3. 」で実施することにしているが、今回実施を失念した理由』等を記載) | 車載工具による増し締めを行った場合は、帰庫後にトルクレンチを用いて規定トルクで締め付けを行うようにしているが運転者が失念し、また、整備管理者も実施状況の確認を忘れていた。 |
| 15. 事業者による原因調査の実施状況 | 実施　・　(未実施)<br>◆実施の場合は実施状況 |
| 16. 推定原因 | 自動車メーカーにおいて調査中 |
| 17. 再発防止策 | 原因特定後に策定予定。<br>事故後、全車のホイールボルト及びナットの状態を自動車ディーラーにおいて確認した(●月●●日終了)が、異常は認められなかった。 |

| | |
|---|---|
| 各県協会加盟の有無 | バス ・(トラック) ・ 非加盟 |

※本調査は、車輪脱落事故防止対策の基礎資料とするために行っております。
本調査をもって、運送事業の行政処分を行うことは一切ありませんので、**ありのままを記入してください。**
ご意見・ご要望等がありましたら 17. 再発防止策 の欄に記入をお願いします。

# 大型車の車輪脱落事故等調査票（写真）

車輪脱落事故発生後、修理前の写真を撮影・貼付してください。

**（1）脱落箇所のハブ写真**

ハブ全体が写るよう撮影してください。

ここに画像データを貼り付けてください。
縦横比は変更しないでください。

**（2）脱落箇所のハブ当たり面の写真**

ハブ当たり面をアップで撮影してください。

ここに画像データを貼り付けてください。
縦横比は変更しないでください。

**（3）脱落箇所のホイール・ボルト写真（1本目）**

ネジ山の状態が分かるよう撮影してください。

ボルトが折れている場合は、破断面が写るよう撮影してください。

ここに画像データを貼り付けてください。
縦横比は変更しないでください。

**（3）脱落箇所のホイール・ボルト写真（2本目）**

ネジ山の状態が分かるよう撮影してください。

ボルトが折れている場合は、破断面が写るよう撮影してください。

ここに画像データを貼り付けてください。
縦横比は変更しないでください。

**（3）脱落箇所のホイール・ボルト写真（3本目）**

ネジ山の状態が分かるよう撮影してください。

ボルトが折れている場合は、破断面が写るよう撮影してください。

ここに画像データを貼り付けてください。
縦横比は変更しないでください。

**（3）脱落箇所のホイール・ボルト写真（4本目）**

ネジ山の状態が分かるよう撮影してください。

ボルトが折れている場合は、破断面が写るよう撮影してください。

ここに画像データを貼り付けてください。
縦横比は変更しないでください。

**（3）脱落箇所のホイール・ボルト写真（5本目）**

ネジ山の状態が分かるよう撮影してください。

ボルトが折れている場合は、破断面が写るよう撮影してください。

ここに画像データを貼り付けてください。
縦横比は変更しないでください。

**（3）脱落箇所のホイール・ボルト写真（6本目）**

ネジ山の状態が分かるよう撮影してください。

ボルトが折れている場合は、破断面が写るよう撮影してください。

ここに画像データを貼り付けてください。
縦横比は変更しないでください。

**（3）脱落箇所のホイール・ボルト写真（7本目）**

ネジ山の状態が分かるよう撮影してください。

ボルトが折れている場合は、破断面が写るよう撮影してください。

ここに画像データを貼り付けてください。
縦横比は変更しないでください。

**（3）脱落箇所のホイール・ボルト写真（8本目）**

ネジ山の状態が分かるよう撮影してください。

ボルトが折れている場合は、破断面が写るよう撮影してください。

ここに画像データを貼り付けてください。
縦横比は変更しないでください。

**（3）脱落箇所のホイール・ボルト写真（9本目）**

ネジ山の状態が分かるよう撮影してください。

ボルトが折れている場合は、破断面が写るよう撮影してください。

ここに画像データを貼り付けてください。
縦横比は変更しないでください。

**（3）脱落箇所のホイール・ボルト写真（10本目）**

ネジ山の状態が分かるよう撮影してください。

ボルトが折れている場合は、破断面が写るよう撮影してください。

ここに画像データを貼り付けてください。
縦横比は変更しないでください。

**（4）脱落箇所のホイール写真（外側ホイール表）**

当たり面が写るよう撮影してください。

ここに画像データを貼り付けてください。
縦横比は変更しないでください。

**（4）脱落箇所のホイール写真（外側ホイール裏）**

当たり面が写るよう撮影してください。

ここに画像データを貼り付けてください。
縦横比は変更しないでください。

**（4）脱落箇所のホイール写真（内側ホイール表）**

当たり面が写るよう撮影してください。

ここに画像データを貼り付けてください。
縦横比は変更しないでください。

**（4）脱落箇所のホイール写真（内側ホイール裏）**

当たり面が写るよう撮影してください。

ここに画像データを貼り付けてください。
縦横比は変更しないでください。

**（5）脱落箇所のナット写真**

脱落現場から回収できたナットのみで構いません。

回収できたナットの数に応じ、写真貼付欄を追加してください。

ISO方式の場合は、ナットとワッシャーの隙間の大きさが分かるよう撮影してください。

JIS方式の場合は、インナーとアウターの両方を撮影してください。

ここに画像データを貼り付けてください。
縦横比は変更しないでください。

# 大型車の車輪脱落事故等調査票（写真）

車輪脱落事故発生後、修理前の写真を撮影・貼付してください。

**（1）脱落箇所のハブ写真**

ハブ全体が写るよう撮影してください。

**（2）脱落箇所のハブ当たり面の写真**

ハブ当たり面をアップで撮影してください。

**（3）脱落箇所のホイール・ボルト写真（1本目）**

ネジ山の状態が分かるよう撮影してください。

ボルトが折れている場合は、破断面が写るよう撮影してください。

**（3）脱落箇所のホイール・ボルト写真（2本目）**

ネジ山の状態が分かるよう撮影してください。

ボルトが折れている場合は、破断面が写るよう撮影してください。

（3）脱落箇所のホイール・ボルト写真（3本目）

ネジ山の状態が分かるよう撮影してください。

ボルトが折れている場合は、破断面が写るよう撮影してください。

（3）脱落箇所のホイール・ボルト写真（4本目）

ネジ山の状態が分かるよう撮影してください。

ボルトが折れている場合は、破断面が写るよう撮影してください。

**（3）脱落箇所のホイール・ボルト写真（5本目）**

ネジ山の状態が分かるよう撮影してください。

ボルトが折れている場合は、破断面が写るよう撮影してください。

**（3）脱落箇所のホイール・ボルト写真（6本目）**

ネジ山の状態が分かるよう撮影してください。

ボルトが折れている場合は、破断面が写るよう撮影してください。

**（3）脱落箇所のホイール・ボルト写真（7本目）**

ネジ山の状態が分かるよう撮影してください。

ボルトが折れている場合は、破断面が写るよう撮影してください。

**（3）脱落箇所のホイール・ボルト写真（8本目）**

ネジ山の状態が分かるよう撮影してください。

ボルトが折れている場合は、破断面が写るよう撮影してください。

（3）脱落箇所のホイール・ボルト写真（9本目）

ネジ山の状態が分かるよう撮影してください。

ボルトが折れている場合は、破断面が写るよう撮影してください。

（3）脱落箇所のホイール・ボルト写真（10本目）

ネジ山の状態が分かるよう撮影してください。

ボルトが折れている場合は、破断面が写るよう撮影してください。

**（4）脱落箇所のホイール写真（外側ホイール表）**

当たり面が写るよう撮影してください。

**（4）脱落箇所のホイール写真（外側ホイール裏）**

当たり面が写るよう撮影してください。

**（4）脱落箇所のホイール写真（内側ホイール表）**

当たり面が写るよう撮影してください。

**（4）脱落箇所のホイール写真（内側ホイール裏）**

当たり面が写るよう撮影してください。

**（5）脱落箇所のナット写真**

脱落現場から回収できたナットのみで構いません。

回収できたナットの数に応じ、写真貼付欄を追加してください。

ISO方式の場合は、ナットとワッシャーの隙間の大きさが分かるよう撮影してください。

JIS方式の場合は、インナーとアウターの両方を撮影してください。